

ひょうごメタルベルトコンソーシアム

ニーズ・シーズマッチング

シーズ発表会2026

参加無料
Web参加可

開催日時：2026年8月3日(月) 13:00~18:00

開催場所：兵庫県立大学新長田ブランチ
(神戸市長田区腕塚町5-2-1)

定員：会場対面先着100名 WEB参加制限なし

ひょうごメタルベルトコンソーシアムでは、シーズ発表会2026を開催します。会員企業様による最新の技術やシーズの発表と展示を実施します。金属に限らずモノづくりに関わる方には情報収集やネットワークづくりに絶好の機会です。発表のWEB聴講は可能ですが、ぜひ来場頂き展示を前にした意見交流会参加をお勧めします。



12:30 会場受付開始 12:50 WEB受付開始

プログラム [第一部] Aコース シーズ 発表講演会 <対面+WEB配信>

13:00 開会挨拶 竹内 章 コンソ副委員長(金属新素材研究センターセンター長)

13:05 Aコース シーズ発表(講演) 11件 発表各10分以内 質疑応答は第二部で個別対応

A-01	金属技研(株)	増尾 大慈 様
A-02	日華化成(有)	山本 昌之 様
A-03	(株)大阪チタニウムテクノロジーズ	西村 涼 様
A-04	山陽特殊製鋼(株)	中村 弘和 様
A-05	(株)松浦機械製作所	原 健一郎 様
A-06	リコージャパン(株)	竹島 美弥 様
A-07	新東工業(株)	梶田 浩二 様
A-08	(株)オータマ	榊原 満 様
A-09	(一財)近畿高エネルギー加工技術研究所(AMPI)	竹本 誠 様
A-10	兵庫県立工業技術センター	吉岡 淳也 様
A-11	金属新素材研究センター	柳谷 彰彦

15:30 閉会挨拶 山崎 徹 コンソ副委員長(兵庫県立工業技術センター所長)

15:35 第一部終了<WEB配信終了>

プログラム [第二部] Aコース+Bコース 展示・ポスターセッション <対面のみ>

15:40 展示・ポスターセッション 14件

同時
進行 意見交流会(軽食・飲物付)
参加費：1,000円

B コース シーズ展示

B-01 静岡県工業技術研究所 浜松工業技術支援センター

B-02 (株)神戸工業試験場

B-03 大亜真空(株)

田光 伸也 様

田中 裕三 様

西原 一幸 様

17:30 終了⇒撤収開始

18:00 撤収完了・閉場

申込方法:対面参加の方もWEB参加の方も皆様、

下記のウェビナー登録の URL から登録をお願いします。

https://zoom.us/webinar/register/WN_yMrZq0SpTp27DX4hI6RLGA

申込締切:7月27日(月)



お問合せ(電子メール): hyogo-metalbelt-c@u-hyogo-shinnagata.jp

兵庫県立大学新長田ブランチ事務室 ひょうごメタルベルトコンソーシアム担当:東間

シーズ発表会2026 ひょうごメタルベルトコンソーシアム

発表テーマ一覧 ニーズ・シーズマッチング

※pdf資料(ポスター集)を
参加登録者に事前配信

●●Aコース発表 11件 発表(講演)+展示・ポスターセッション

#	発表者	テーマ	概要
A-01	金属技研(株) 増尾 大慈 様	金属LB-PBFを使用したセラミックス積層造形技術の紹介	金属造形用のLB-PBF装置を活用し、アルミナ系・シリカ系・炭化物系セラミックスをバインダーレスで造形する技術について、他のセラミックス造形工法との比較を通じて、そのメリット・デメリットを解説します。
A-02	日華化成(有) 山本 昌之 様	スプレードライヤーを用いた受託造粒について	1987年よりスプレードライヤーを用いた受託加工・試験を行っています。特にプレス成型用セラミックス造粒粉の生産に注力しており、スラリー調製や顆粒化技術が本コンソーシアム関係の皆様のお役に立てればと考えました。
A-03	(株)大阪チタニウムテクノロジーズ 西村 涼 様	チタン積層造形における当社の取り組み紹介	医療や航空宇宙の分野で実用化が着実に進んでいるチタンの積層造形用途に向けて、当社が日本で初めて工業化したスポンジチタン製造で培った技術を活用してガスアトマイズ法球状チタン粉末を製造しています。今回は本製品を紹介するとともに、研究開発事例を紹介いたします。
A-04	山陽特殊製鋼(株) 中村 弘和 様	金型向け3D用粉末「S-MECシリーズ」のご紹介	S-MECシリーズは従来材料の限界を超える熱伝導性と造形性を両立した3D用ダイカスト金型向けの鋼種です。本発表では、3D用金属粉末の製造方法や同開発材の特徴についてご紹介いたします。
A-05	(株)松浦機械製作所 原 健一郎 様	積層造形と高速切削の複合加工が拓く新たな製造技術	金属積層造形と高速切削を融合した複合加工技術の特徴と適用事例を紹介し、金型や機能部品の高機能化、工程集約による工数削減など、新たな製造の可能性について発表します。
A-06	リコージャパン(株) 竹島 美弥 様	低価格 小型 PBF方式 金属3Dプリンタ「DeskFab H1」	casting・板金加工の課題解決やロボットハンド、治具、MRO部品、試作部品の製作をテーマに、金属3Dプリンタの活用方法と導入のポイントを解説します。
A-07	新東工業(株) 梶田 浩二 様	L-PBF金属3Dプリンタ用粉末除去装置	新東工業では主に金属3Dプリンタ周辺設備やプロセス技術を開発中であり、今般、L-PBF金属3Dプリンタ用の粉末除去装置を新しく開発したので紹介する。これにより、3D造形後の粉末除去作業が安全且つ効率よくおこなうことが出来ます。
A-08	(株)オータマ 榊原 満 様	軟磁性材料を用いた磁界制御と当社製品・サービスについて	当社は、主に磁気ノイズに対する耐性の低い装置・設備に対する磁気シールドや、電流センサー等に用いられるセンサーコアのメーカーです。本発表では、製品や各種サービスを中心に当社の強みに関して説明します。
A-09	(一財)近畿高エネルギー加工技術研究所(AMPI) 竹本 誠 様	K Programを活用した金属AMの造形実証について	AMPIでは、K Program(経済安全保障重要技術育成プログラム)において、金属AMの研究開発を進めている。導入した設備を活用し金属AMの社会実装に向けた用途開発を推進するので、開発案件を企業の皆様から募集する。
A-10	兵庫県立工業技術センター 吉岡 淳也 様	トポロジー最適化を用いた設計の革新	トポロジー最適化とは、与えた条件下で最適な構造を見つける設計手法です。形状の自由度が高いため、3Dプリンタと相性が良いとされています。本発表では、トポロジー最適化の事例や活用方法についてご紹介します。
A-11	金属新素材研究センター 柳谷 彰彦 様	廉価版樹脂用3Dプリンタ(FDM)を用いた金属造形	射出成形(MIM)に近い金属AM技術としてMEX(FDM)法が知られている。これはL-PBFやEBMと比較して安価なプロセスである。本センターではより安価な樹脂用3Dプリンタにより、SUS316Lの他に最近純銅フィラメントを使用して造形し、脱脂・焼結を行い製品に仕上げることでできたので紹介する。

●●Bコース発表 3件 展示・ポスターセッション

#	発表者	テーマ	概要
B-01	静岡県工業技術研究所 浜松工業技術支援センター 田光 伸也 様	造形技術開発の多角的アプローチ：低コスト試作および大型金型	低コスト試作(安価なアルミ粉による高速造形)と大型金型(マルエージング鋼代替材料による樹脂射出成形金型の低応力造形)に対応するLB-PBFによる造形技術開発の取り組みを紹介します。
B-02	(株)神戸工業試験場 田中 裕三 様	材料試験の受託サービス	神戸工業試験場は総合的な受託試験会社で、数多くの造形材の強度試験や分析を行っています。試験片加工から各種試験まで、材料試験を検討されている方は、ぜひご相談ください。
B-03	大亜真空(株) 西原 一幸 様	造形室の酸素濃度低減効果の紹介	弊社は、AM用に以下の装置をご提案します。 ・ガス循環精製装置:水分濃度・酸素濃度を極限まで下げます。 ・真空溶解炉:材料の研究開発から製造現場にご提案します。 ・真空熱処理炉:造形後の熱処理を行います。

内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承お願い致します。